

研究・調査報告書

報告書番号	担当
4 0	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and the risk for prostate cancer in the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition. 飲酒と前立腺がんとの関連について	
執筆者	
Rohrmann S, Linseisen J, Key TJ, Jensen MK, Overvad K, Johnsen NF, Tjonneland A, Kaaks R, Bergmann MM, Weikert C, Naska A, Trichopoulou A, Trichopoulos D, Pala V, Sacerdote C, Palli D, Tumino R, Bueno-de-Mesquita HB, Vrieling A, Gonzalez CA, Larranaga N, Navarro C, Barricarte A, Quiros JR, Martinez-Garcia C, Hallmans G, Stattin P, Manjer J, Wirfalt E, Bingham S, Khaw KT, Egevad L, Ferrari P, Jenab M, Riboli E.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2008 May;17(5):1282-7.	
キーワード	
飲酒、前立腺がん、前向きコホート研究	
要 旨	
<p>目的： 飲酒はある種のがんの危険因子である。しかし、前立腺がんに関する検討結果は一致していない。多くの検討では飲酒と前立腺がんは関連を認めていない。飲酒と前立腺がんの関連を前向きコホート研究において検討する。</p> <p>方法： European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition 研究において 142,607 人の男性を対象に飲酒状況の情報を調査開始時(コホート対象者の 100%)から 1992 年から 2000 年にわたり (コホート対象者の 76%) 追跡した。Cox 比例ハザードモデルを用いて飲酒量の前立腺がんに対する多変量調整相対リスク(RR)と 95%信頼区間(CI)を算出した。調整因子は年齢、調査センター、喫煙、身長、体重、運動量、アルコールを除いたエネルギー摂取量とした。</p> <p>結果： 追跡期間の中央値は 8.7 年間であった。追跡期間中、2655 人の前立腺がんを確認した。調査開始時および生涯の平均飲酒量は前立腺がんリスクとの関連を認めなかった。一日あたりの飲酒量 60g 以上では飲酒量 0.1 から 4.9g を対照とすると前立腺がんの RR は 0.88(95%CI,0.72-1.08)であった。また、生涯の平均飲酒量 60g 以上の RR は 1.09(95%CI,0.86-1.39)であった。進行前立腺がんに関しては、調査開始時の一日あたりの飲酒量 60g 以上では RR は 0.98(95%CI,0.66-1.44)であり、生涯の平均飲酒量 60g 以上では 1.28(95%CI,0.79-2.07)であった。アルコールの種類との関連は認めなかった。</p> <p>結論： 今回の検討結果からは飲酒と前立腺がんリスクとの関連は示唆されなかった。</p>	